



2023年締めくくりのCaN忘年会 プロによる熟成生ハム原木カット実演も

12月27日に弊社の忘年会が開催されました。忘年会のレストラン会場に向かう前に、従業員が社内のラウンジに集い、スパークリングワインやビールで乾杯しました。談笑中、生ハム職人の山田さんと生ハム原木が登場し、事務所で生ハムのカットの实演が行われました。



この生ハムはEUオーガニック認証を取得したスペイン産ハモン・イベリコであり、イベリコ豚全体の約2%のみしか存在しない「純血統」イベリコ豚を使用しています。濃い赤身が特徴であり、職人が3年間熟成させ、出来たての一番美味しい状態を空輸で仕入れています。合同会社ライフジュエルの代表社員であり、また生ハム職人でもある山田さんは過去に10年間スペインで生ハム造りに専念し、現在でも年に2回程スペイン現地に足を運び、農場の視察や仕入を行っています。事務所に生ハム原木がありますので、お越しいただいた際には、是非ともご賞味ください。

最新の各国動向

JETRO 2023年度版『海外進出日系企業実態調査』公表

日本貿易振興機構(JETRO)は、2023年11月30日、2023年度『海外進出日系企業実態調査(アジア・オセアニア編)』を公表しました([リンクはこちら](#))。

本調査は、アジア・オセアニア地域の20カ国・地域に進出する日系企業に対して、現地での活動実態に関するアンケート方式で実施されました(調査実施時期は2023年8月21日～9月20日で、有効回答は4,982社)。

下記に調査報告書の内容をまとめましたので、是非こちらもご参考にしてください。

【調査報告書サマリー】

- **2023年の営業利益の黒字割合は前年調査65.6%から62.4%に低下**。景況感は直近10年でコロナ禍の**2020年に次いで悪い水準**となった。特に香港・マカオ、中国、台湾などの地域で落ち込む一方、インドは現地市場の需要増加に伴い際立って好調となっている。**2024年の景況感は回復する見通し**である。
- 事業拡大意向は小幅に上昇しているものの、**中国では拡大意向のある企業の割合は27.7%と過去最低水準**となった。
- **約5割の企業が人材不足の課題に直面**し、とりわけニュージーランドや台湾、マレーシアで不足感が目立った。業種別では製造業よりも**非製造業の不足割合が高く**、インバウンドの再興の影響で旅行・娯楽業などで人材の不足感が高くなっている。

(JETRO報告書をもとにCaN Internationalが作成)